

青森県男女共同参画センターの 防災関連事業の取組み

平成26年1月31日(金)
内閣府 男女共同参画会議
監視専門調査会

小山内世喜子
青森県男女共同参画センター 副館長
特定非営利活動法人全国女性会館協議会 常任理事

取り組んだ防災関連事業

▶ 平成24年度

・男女共同参画地域防災体制づくり事業(青森県委託事業)

1. モデル事業「青森市、おいらせ町における避難所体験」
2. 男女共同参画の視点を取り入れた「安心避難所づくり」ハンドブックの作成
3. 合同発表会

・学びを通じた地域コミュニティ再生支援事業

(文部科学省委託事業)

1. 被災住民の学びの場とカタリバを通じた生きがいづくり事業
2. 避難所体験を通じた地域コミュニティの再生
3. 「男女共同参画視点避難所マニュアル」DVDの制作と防災教育への活用
4. Webサイトによる取り組み情報発信

▶ 平成25年度

・学びを通じた地域コミュニティ再生支援事業

(文部科学省委託事業)

I 「男女共同参画地域防災体制づくり事業」について

▶ 実施目的

避難所等における男女のニーズの違いなど男女双方の視点への配慮や男女共同参画の視点を取り入れた防災体制の必要性は再認識されたが、現実には防災分野への女性の参画が進んでいなかったため、男女共同参画の視点が反映されにくかった。

そこで、避難所体験を通して、地域における男女共同参画の視点を踏まえた防災体制づくりのモデル事業を青森市とおいらせ町で実施し、防災における男女共同参画の視点の重要性の理解を深め、災害時の行動に結びつくことを目的とした。

▶ 被災地のヒアリング調査の結果

- ・ 子ども連れ、ペットがいる家族が車中泊
- ・ 着替えはトイレ
- ・ 炊き出しは婦人会
- ・ 男女双方の視点の配慮がない
- ・ **保健師に「食事の世話役」期待**
- ・ 女性リーダーが不足

▶ 1 6 3 2 人の震災関連死（全国）

（事業実施当時 2012年3月31日現在）



避難所生活・運営体験(訓練) がなぜ必要か

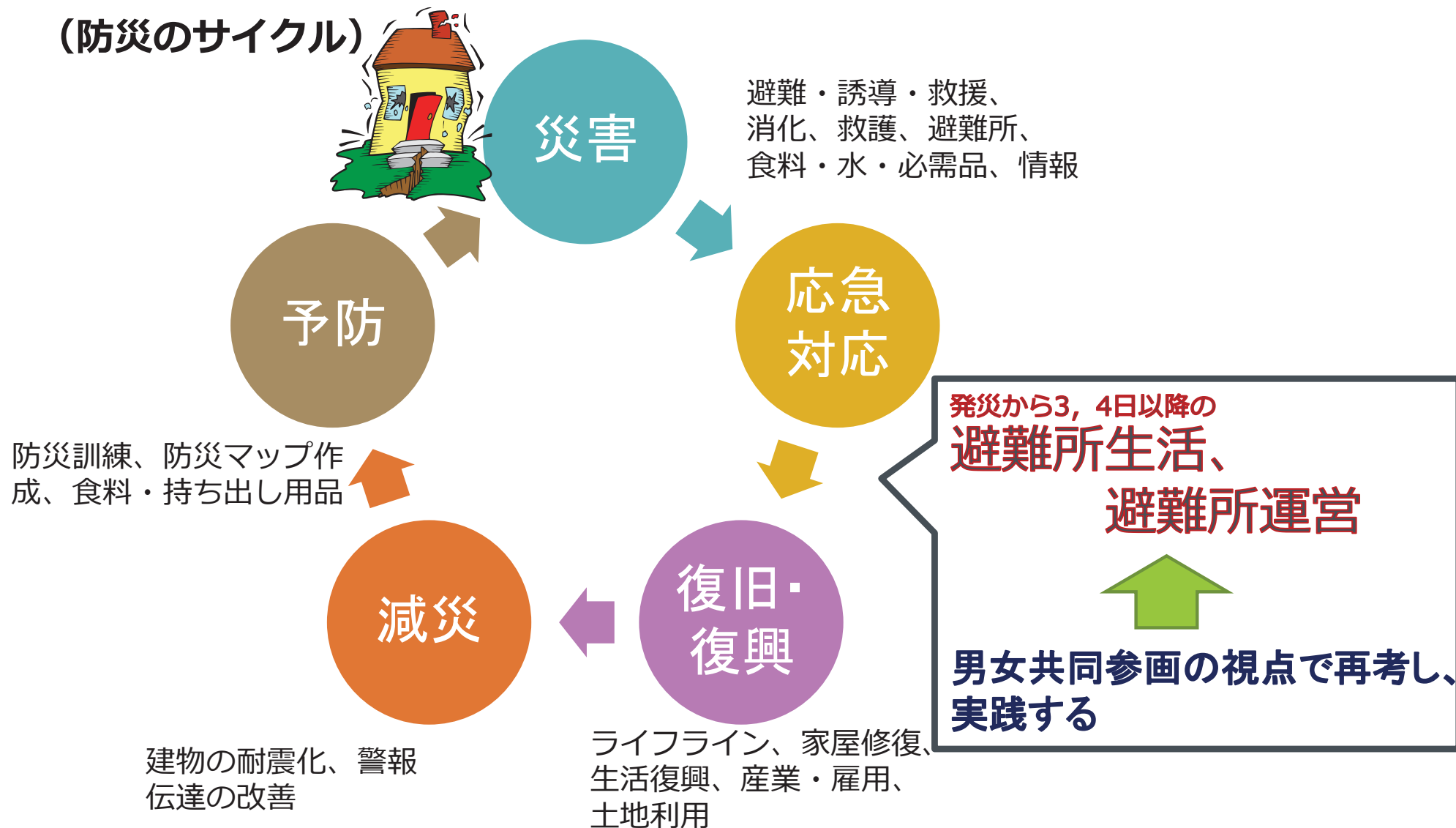
- ▶ これまでの訓練は初動訓練がほとんどで、避難所運営訓練をほとんど実施したことがない。
- ▶ 女性の困難が蔓延しやすい。
- ▶ 多様な配慮を必要とする人たちの課題がたくさんあり、みんなで考える必要がある。
- ▶ 共助の力が必要。(市民が主体的に関わる必要)
- ▶ 女性の力を発揮できる場でもある。
- ▶ 子どもから大人まで、さまざまな人たちが参加できる。



男女共同参画の視点を取り入れて実施する

復旧期に入る、発災3日、4日後に想定して実施

(防災のサイクル)



プログラム

実行委員会の設置

青森市(19人)

- ◆町内会長
- ◆PTA
- ◆民生委員
- ◆女性消防団
- ◆子育て中の母親
- ◆自主防災会
- ◆社会福祉協議会
- ◆DV被害女性の支援者
- ◆防災士
- ◆青森県・市行政職員

おいらせ町(14人)

- ◆自主防災会
- ◆社会福祉協議会
- ◆日赤奉仕団
- ◆行政職員等
- ◆PTA
- ◆地婦連
- ◆連合町会



第1回WS

6月2日(土) 9:30~12:00

第2回WS

7月2日(月) 18:00~20:30

第3回WS

7月23日(月) 18:00~20:30

6月1日(金) 18:30~21:00

7月3日(火) 18:00~20:30

7月24日(火) 18:00~20:30

避難所体験及び避難所ワークショップ

9月8日(土) 13:00~16:00
会場: アビオあおもり 対象: 一般県民
「安心できる避難所体験」



アビオあおもりを
どんな避難所にし
ましょう。

避難者カードの
記入
400人もの市民
が参加しました。

↓ここからの対象は、実行委員、アビオあおもり職員
19:00~21:00 「避難所ワークショップ」「宿泊体験」等
9月9日(日) 6:00~9:30
「避難所ワークショップ」



今日の避難所体
験を今後にと
う生かすか

10月21日(日) 9:00~12:30
会場: 深沢コミュニティセンター
対象: 深沢地区住民、実行委員等
「おいらせ町総合防災訓練」 & 「安心できる避難所体験」



空間づくりをした
避難所は整然と過
こしやすい

13:00~14:30 対象: 実行委員、自主防災会のみなさん
「避難所ワークショップ」



男女ともに支え合
い、責任を分かち
合って避難所運営
するためには

第4回WS

ふりかえり

10月30日(火) 18:00~20:30

10月29日(月) 18:00~20:30

男女共同参画の視点に立った避難所「空間づくり」「資機材・物資の確保」「運営ルールの検討」及び
運営委員会における男女共同参画のポイントについて、体験を基に話し合いました。

男女共同参画の視点を取り入れた「安心避難所づくり」ハンドブックの作成(12月発行)

合同学習会 12月8日(日)13:00~15:30

- ・「平成24年度男女共同参画地域防災体制づくり事業」実施報告等
- ・講演会「みんなでつくる安心して過ごせる避難所～男女共同参画の視点から～」



実施にあたっての工夫・留意点

(1) 実行委員会を組織・実行 (おいらせ町)

組織：自主防災組織、日赤奉仕団、町連合婦人会、町連合町内会、
町役場環境保健課、町連合PTA、町防災安全推進室、町社
会福祉協議会

性別：女性 7名、男性 7名

(2) 減災を目的とするなかで、男女共同参画の理解に つなげる

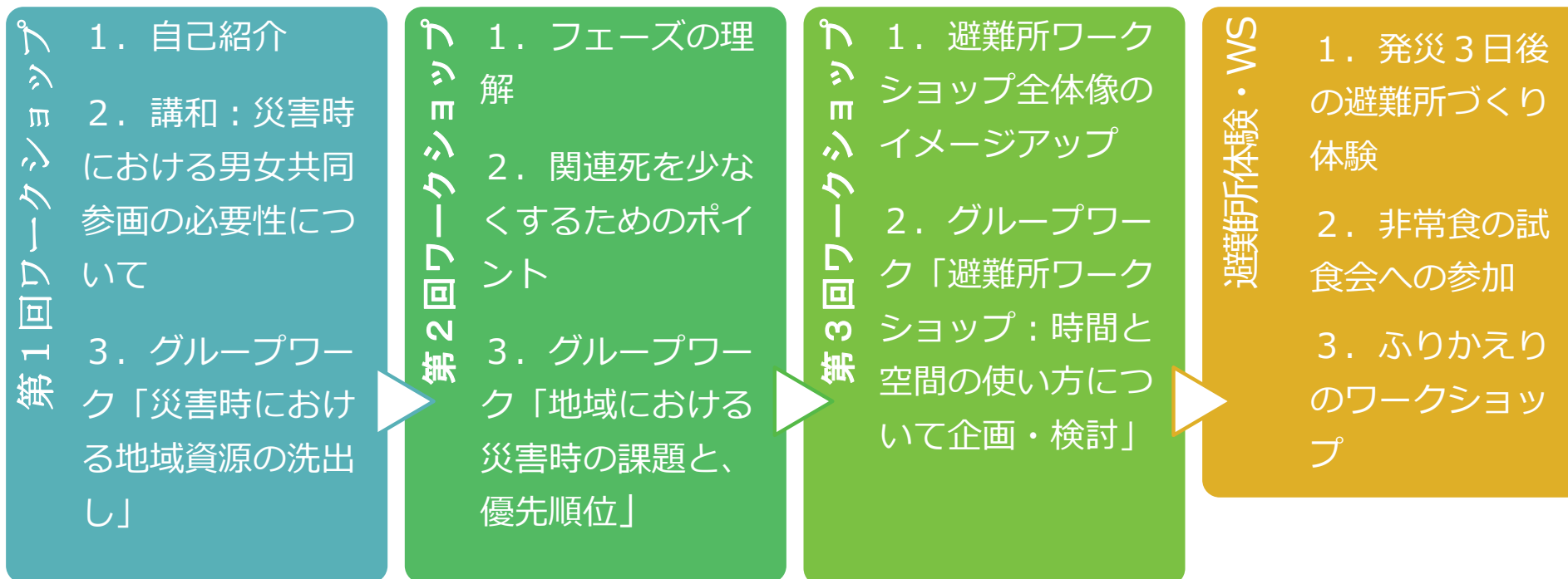
(3) 課題に対し住民が主体的に考えるための「場づくり」 と実動訓練の実施

(4) 他機関との横断的取組み(参考シート1参照)

(5) 企業との連携(防災グッズ・備品の提供、NTT災害ダイヤルなど)

Ⅱ おいらせ町での取組み内容

○事前ワークショップ～○避難所体験・ワークショップ



(参考) 避難所体験

青森市 (アピオあおもり) 9月8・9日

- 特別な配慮を必要とする人のための避難所

おいらせ町 (深沢コミュニティセンター) 10月20日

- 関連死防止のための避難所づくり

平成24年度おいらせ町総合防災訓練

平成24年10月21日(日)

○初動対処訓練



・住民の津波避難（住民の訓練、災害時要援護者の避難要領）



・津波避難に対応した初動活動（消防、警察、職員の実働訓練）



・災害対策本部の情報収集、分析、指揮命令、関係機関との調整（本部員の図上シミュレーション訓練）

○避難所運営訓練

・避難所運営の活動（避難所開設、避難所運営、男女共同参画訓練）



おいらせ町避難所体験 (平成24年10月21日実施) 場所:深沢コミュニティセンター



1.発災直後、避難所へ向かいます



2.受付で避難者カードを受け取ります



3.健康チェック



4.ワークショップ前、避難者は三々五々



5.避難所づくりスタート、まずは性別年齢確認



6.要援護者は特別室に



7.避難所空間づくり:動線の確保



8.小規模避難所で高齢者が多いので、今日は男女別に区分けを



9.間仕切りでプライベートの確保を

制作: おおもり被災地の地域コミュニティ再生支援事業実行委員会/無縁男女共同参画センター

おいらせ町避難所体験

(平成24年10月21日実施)

場所:深沢コミュニティセンター



10.毛布の配布、要援護者、乳幼児、妊婦の順で



11.間仕切りがあると、安心感が生まれます。



12.朝起きたら毛布はたたんで。避難所が整然としています



13.昼食の配布、物資調達班、男性も配膳を



14.食事の前は手を消毒、感染症予防



15.高齢者は椅子があると助かります



16.安全衛生班がごみの回収



17.段ボールベッドの寝て見る体験(ちょっと固め?)



18.エコノミークラス症候群予防体操

制作: あおもり被災地の地域コミュニティ再生支援事業実行委員会/青森県男女共同参画センター

避難所体験・ワークショップ

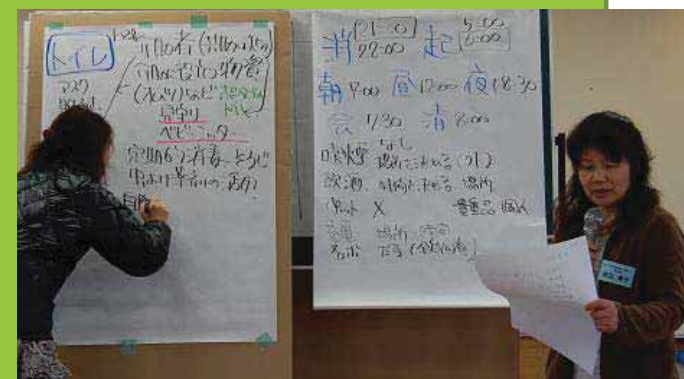
- 9:00 発災・大津波警報・避難
- 9:30 避難所開設
- 10:00 発災3日後の避難所づくり体験
- 12:00 避難所体験終了

当日は実行委員の他にも、各自主防災組織からの代表も参加(21人)。

13:00-避難所ワークショップ (ふりかえりのワークショップ)

- ・避難所を運営する上での「ルール作り」や「安眠対策」、「感染予防」、「着替え」「トイレ対策」などについて男女共同参画の視点でとらえた意見を出す。
- ・発表
- ・地域防災活動で、どのようにしたら「男女が支え合ってよい活動ができるか」についてのポイントをあげる。
- ・発表

14:00-終了



子ども防災ワークショップ / 非常食の試食



会場：深沢保育園

「ふりかえり」作業（成果を次につなげる）

○事後ワークショップ～○合同学習会

第4回ワークショップ

1. ふりかえり
2. グループワーク「市民力・女性の視点と力を活かす防災活動」

合同学習会

1. 事業の趣旨説明
2. 避難所体験の紹介
3. 実行委員の感想
今後、どう生かすか
4. 講演「みんながつくる安心避難所～男女共同参画の視点から～」講師：石井布紀子（NPO法人さくらネット代表理事）



重要な「PDCAサイクル」
なかでもCheck（ふりかえり）



Ⅲ 事業成果・効果

1. 多様性配慮の避難所運営の必要性の気づき・認識

(参加者: 青森市400人、おいらせ町100人)

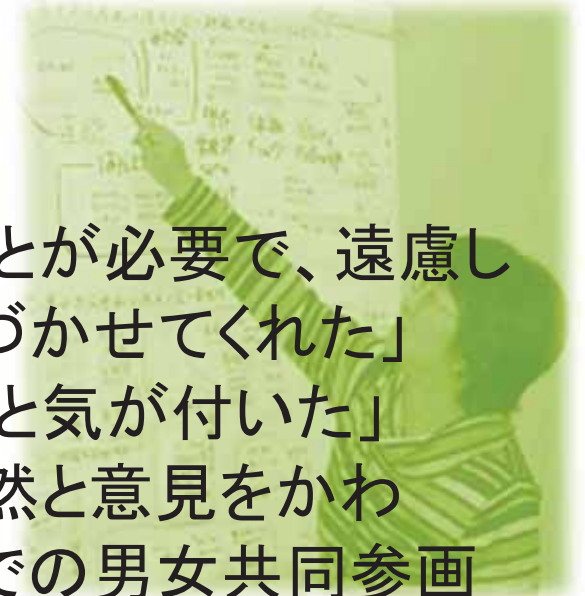
2. 実行委員の意識の変化とエンパワーメント

(1) 女性たちの参加意欲や自信につながった

- ・「これまで自分が経験したことを活かしていくことが必要で、遠慮なくていいのだ、もっと積極的でいいんだと気づかせてくれた」
- ・「女性であることにもっと自信をもっていいんだと気が付いた」
- ・「(男性を含むさまざまな)メンバーの方々と自然と意見をかわすことができるようになり、これぞ本当の意味での男女共同参画ではなかったかと思った」

(2) 男性実行委員の認識の変化

- ・「訓練を通して、女性の視点やプライバシーの問題について初めて知った」
- ・「災害＝男性の役割、避難所＝女性の炊き出し」というイメージの払しょくと、男女のそれぞれのニーズや困難さについて理解した」



3. 自主防災組織の立ち上げ

おいらせ町 震災前の14組織(約50%)から23組織(約70%)

(H25年11月1日現在)

4. 町の融和につながった

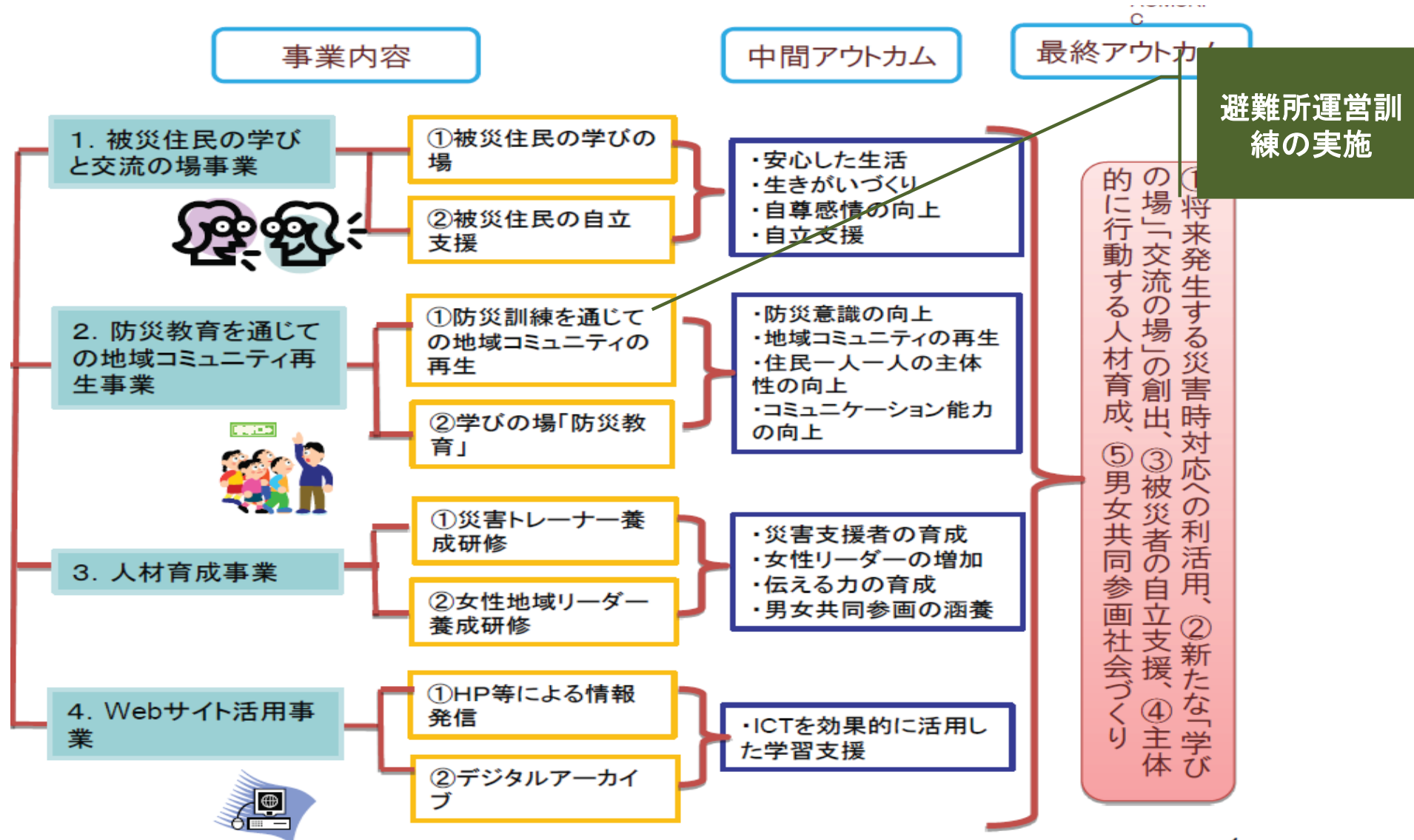
平成17年の市町村合併で、海のある百石町と海のない下田町が合併。防災に関しての意識の格差が緩和され、町の融和につながった。

5. おいらせ町職員の男女共同参画への理解

- ・防災における女性の視点の必要性に気が付いた
- ・継続の必要の認識
- ・日常生活の見方にも変化が生じ、男女共同参画の理解につながった。

6. 成果品を活用した防災教育(ハンドブック、DVD)(参考シート2)

IV 平成25年度 防災関連事業



おいらせ町避難所運営訓練（25年10月20日（日））



参加者

- ・運営者 46人
- ・一般参加者 129人
- ・行政職員 16人



25年度のポイント

- ・住民が主体的に取り組む避難所運営
- ・避難所運営のキャッチ力・判断力とネットワークの構築
- ・参加者としての行政職員



その他の取組み

▼ 〈人材育成〉

- ・ 災害トレーナー養成研修
(青森市、八戸市)



- ▲ 〈女性リーダーの人材育成〉
・ 女性地域リーダー養成研修
(階上町、おいらせ町)



- ◀ 〈防災に男女共同参画の視点を〉
・ 学びの場「防災教育」(八戸市/湊
公民館、他4か所の公民館)

平成25年度1年間で約600人対象に
「防災と男女共同参画」をテーマ
にした啓発活動を実施

V 男女共同参画センターが「防災」の切り口で地域に出ていく意義と効果

青森県男女共同参画センター

(地域の男女共同参画の拠点としての機能と役割)

1. 課題解決型で実践的活動につながる知識習得や意識啓発
2. 地域や地域に住む人々の課題の的確な把握及び情報提供
3. 実践的な活動のための関係団体等との協働、ネットワークのコーディネート
4. 実践的な活動を通じた人材の発掘・確保・育成

男女共同参画センターが「防災」の切り口で地域に出ていくことの意義・効果

意義

- ・ 県の男女共同参画の拠点施設である
- ・ 市町村に対する支援の役割（県のセンターとして当然）
- ・ 地域課題として、「防災」は大きなテーマ
- ・ 教訓として、防災における男女共同参画の視点が大事

男女共同参画センターとしてのメリットは「相乗効果」

- ・ 人とのつながりの形成（FACE To FACEの関係性）
- ・ 住民との信頼関係の構築（受け入れてもらいやすい）
- ・ 市町広報誌での情報発信 ・ ハード面での協力（会場、物品）

平成24年度

おいらせ町との連携

○被災地のおいらせ町のニーズとマッチングしていた

「平成24年度総合防災訓練の基本的な考え方」

- ・ 現状及び問題点（課題及び考慮すべき内容）
- 避難所運営については、途上の段階であり、特に男女共同の視点による訓練は実施していなかった。よって県事業の男女共同参画地域・防災体制づくりワークショップのモデル自治体として、企画課と連携し、本事業を推進していく必要があると判断。

実施

効果

- ・ 住民の男女共同参画の啓発につながった
- ・ 自主防災組織が増えた
- ・ 町の融和につながった
- ・ 町職員の意識の変化

「防災」をキーワードとした啓発は男女共同参画の理解に効果が高い

平成25年度

青森県内

被災市町村との連携

（八戸市、三沢市、おいらせ町、階上町）

- 住民による避難所運営訓練の実施（おいらせ町、青森市）
 - 女性リーダーの人材育成（おいらせ町、階上町）
 - 防災トレーナーの養成（青森市、八戸市）
 - ハンドブック・DVDを活用しての公民館での防災教育（八戸市内公民館3か所、七戸町公民館1か所）
- *上記以外にも、三沢市、野辺地町等からの依頼で研修会の実施

県外

- DVDを全国の男女担当課・男女共同参画センター等へ発送・活用
- NWEC男女共同参画推進フォーラムでWS
- ジェンダー視点を持った防災講師が活用

波及効果

1. おいらせ町

- 改正男女共同参画プランに「防災対策分野における女性の参画」が盛り込まれた
- ・ 県男女共同参画センター事業の活用が掲載

2. 他機関との連携

- 県消防学校
 - ・ 消防学校、中間管理職、婦人消防団等の教育のプログラムに活用
 - ・ 管理職向けの「女性活躍のために」の講師派遣
 - ・ 消防学校事業で「パパ・ママ救急なんでも相談会」が発足

○県防災課

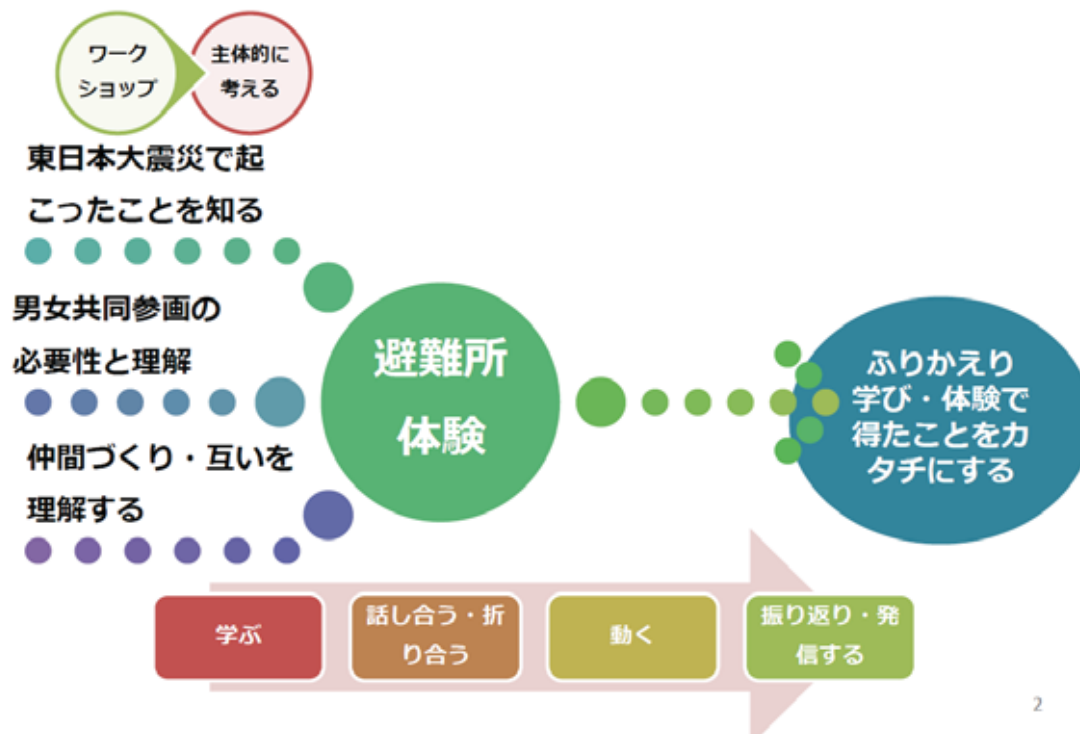
- ・ 情報発信・提供
- 町内会、NPO、市民団体等とのネットワークの構築
- 3. 全国各地でDVDの活用
- 4. 事例発表による、全国への取組みの普及

(参考シート1) 成果を上げることができた要因

1. 横断的取組



2. プロセスと実践



2

＜この2年間の事業の中で、成果をあげることができた要因＞

①防災関連事業をすすめるにあたって、防災・危機管理部局と男女共同参画部局、そして男女共同参画センターがタッグを組んで一緒に取り組み、各組織が強みを活かし合いながら、横断的連携を図りながら取り組むことができこと。

②住民の主体性を重要視した避難所運営訓練。それに向かうしくみ・プロセスを大事にしたこと

(参考シート2) 成果物

○男女共同参画の視点を取り入れた 「安心避難所づくり」ハンドブック



〈コンセプト〉

- ・ ビジュアル中心、コンパクトでわかりやすい手引き
- ・ 東日本大震災の教訓を生かす
- ・ 青森市、おいらせ町の避難所体験やワークショップで決まった内容を盛り込む。

〈発行・配布〉

- ・ A4サイズ、8ページ
- ・ 12000部作成・配布
県内市町村の男女共同参画担当課、防災担当課
青森市内町内会、 公共施設
都道府県・政令指定都市の男女共同参画担当課、男女共同参画センター など

○DVD「安心できる避難所づくり」 ～男女共同参画の視点を避難所運営に～



(30分)

◆ 3部構成で製作

- ① 関連死防止のための避難所づくり
(おいらせ町訓練の紹介)
- ② 特別な配慮を必要とする人のための避難所
- ③ 地域で進める自主防災活動の中に、女性の視点を取り入れましょう
 - ・ 防災訓練を見直しましょう
 - ・ 避難所訓練を実施しましょう